

-臨床研究に関する情報および臨床研究に対するご協力をお願い-

現在、呼吸器外科では、本学で保管している診療後の残余検体と診療情報等を使って、下記の研究課題を実施しています。

この研究課題の詳細についてお知りになりたい方は、下欄の研究内容の問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。なお、この研究課題の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の検体・診療情報等を「この研究課題に対しては利用・提供して欲しくない」と思われた場合にも、下欄の研究内容の問い合わせ担当者までお申し出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

[研究課題名] 胸腔子宮内膜症性気胸の横隔膜病変の病理学的考察

[研究対象者] 2019年1月から2025年12月までに東京女子医科大学 呼吸器外科で手術を施行し病理学的に胸腔子宮内膜症性気胸と診断された12例

[利用している残余検体・診療情報等の項目]

残余検体： 手術後診断のため作成されたプレパラート

手術にて切除しホルマリン固定後パラフィンで埋包された検体

診療情報等： 性別、年齢、身長、体重、既往症、合併症、アレルギーの既往、喫煙歴、ホルモン治療歴、月経周期、自然気胸治療歴、血液検査、臨床症状、画像診断、手術所見、出血量、手術時間、術後の合併症の有無、合併症の発生日、再発の有無、再発日、病理学的所見（診断のためのH. E. 染色、ER、PgRの観察結果、リンパ球の浸潤が観察された症例に対して施行した、CD3, CD20, CD21の染色を追加し第3リンパ構造の観察結果）

[利用の目的] （遺伝子解析研究： 有 ☒ 無 ☐ ）

横隔膜に発生した病変の発生機序について解明することを目的としています。

[研究実施期間] 倫理審査委員会承認後より2027年9月までの間（予定）

[この研究での検体・診療情報等の取扱い]

本学倫理審査委員会の承認を受けた研究計画書に従い、お預かりした検体や診療情報等には氏名、生年月日等の情報を削り、個人が特定されることがないように加工をしたうえで取り扱っています。

[機関長、研究責任者、および、研究内容の問い合わせ担当者]

機関長：東京女子医科大学 理事長 清水 治

研究責任者：東京女子医科大学 呼吸器外科 教授 神崎正人

研究内容の問い合わせ担当者：東京女子医科大学 講師 渡邊健一

電話：03-3353-8111（応対可能時間：平日9 時～16 時）